



2025ねん2がつごう (no. 268) **やすとしよかん**

ほんかん	10:00~18:00 (かようび~にちようび)	でんわ 077-586-0218 ファクス 077-587-5976
ちゅうずぶんかん	10:00~17:15 (かようび~にちようび)	でんわ 077-589-3382
ホームページ	https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/	



こどもむけイベントのお知らせ

★ちっちゃなおはなしの森 in 中主

2月27日(木) 11時~

場所: 中主分館 (赤ちゃんから)



だいじなお知らせ

本館はエアコンの工事をしているため、3月まではだんぼうが入りません。寒いので、あたたかくしてきてくださいね。

このため、12月~2月は、本館でのおはなし会はしていません。



2月のとしよかんカレンダー

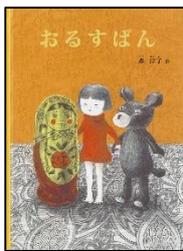
にち日	げつ月	か火	すい水	もく木	きん金	ど土
						1
2	3	4	5	6 館内整理日	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27 ちっちゃなおはなしの森 in 中主	28	

※ ■ の日はお休み

『おるすばん』

森洋子/作 (福音館書店) E/札

おばあちゃんのぐあいわるくなって、おかあさんがようすをみにいっているあいだ、おるすばんをすることになったあっちゃん。しーんとしたへやのなかでひとりぼっち。みずをのもうとだいどころへいくと、どうぐややさいたちがいっせいにめをあけて…。



『つめたいこおりどんなかたち?』

細島雅代/写真 伊地知英信/構成・文 (岩崎書店) K451

こおりは、みずがひえてかたまっただもの。さむいきせつは、しぜんのなかでもこおりができる。しもばしら、つらら、たけのこごおり…。いろいろなかたちをしたこおりをしゃしんでしようかい。

★「かがくすっ」シリーズ



あたらしくはいったほん

『カフェ・スノードーム』

石井睦美/文 (アリス館) K913/伊

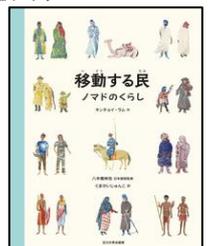
ありふれた街のありふれた住宅街にある「カフェ・スノードーム」。ほとんどの人には目にとまることはないけれど、必要とする人は、呼ばれたようになってくるふしぎな場所。そして、店主のタマルさんのいれたお茶を飲むと、さらにふしぎなことが起こって…。



『移動する民』

キンチョイ・ラム/作 八木橋伸浩/日本語版監修
くまがいじゅんこ/訳 (玉川大学出版部)

ひとところに家をもたず、移動しながら生活する人びと、ノマド。モンゴルの遊牧民、シベリアのネネツ、サハラ砂漠のトゥアレグなど、伝統的なくらしを続ける7つの社会を紹介します。



★ほかにもあるよ! 「あたらしくはいったほん」のたなをみてみてね。よやくもできます

『イグアナくんのおじやまな毎日』

佐藤多佳子/作 はらだだけひで/絵

(偕成社) K913/41

徳田のジジイが誕生日プレゼントに「恐竜ほしくないか？」ってきいてきた。だから「生きてるならね！！」ってこたえたら、徳田のジジイがもってきたのは、生きてるイグアナで…。ママは叫ぶし、パパはうめくし…。もう、どうしたらいいのよ！！



『おくりものはナンニモナイ』

パトリック・マクドネル/作 谷川俊太郎/訳

(あすなろ書房) E/47

ネコのムーチは、だいきなイヌのアールにおくりものをすることに。でも、なんでももてるアールにいったいなにおくればいいんだ？



『へびのクリクター』

トミー・ウンゲラー/作 中野完二/訳

(文化出版局) E/47

フランスにすむボドさんのたんじょうびに、ブラジルにいるむすこから、きみょうな丸いはこがとどきました。ボドさんがはこをあけてみると、なかからでてきたのは、なんと…へび！ボドさんはおもわず「きゃーっ！」とさけんでしまいました。



『やっかいなおくりもの ごきげんなすてご②』

いとうひろし/さく (徳間書店) K913/11

わたしにおとうとができた。みんなは「てんしみたいなおとうとがいてしあわせね」っていう。だからわたしは、あいのたつきゆうびんになって、しあわせ(おとうと)を、みんなにわけてあげることにしたんだ♪



『はりねずみのノート屋さん』

ななもりさちこ/作 たかおゆうこ/絵

(福音館書店) K913/11

はりねずみのツンタは、うさぎのトトンから花束をもらったおれに、トトンにぴったりのノートをつくりました。でも、わたすのがはずかしくなったツンタは、おくりぬしをかくしてプレゼントすることに…。かんたんなミニノートのつくり方もっています。



『子どもがつくれるプレゼント菓子』

柴田書店/編 (柴田書店)

K596

お菓子をつくってプレゼントしたくなるのは、どんなとき？誕生日？クリスマス？それともバレンタインデーやホワイトデー？でも特別な日じゃなくても、ちょっとした気持ち伝えたいときに、お菓子をつくっておくってみませんか？だれかにおくってみたくなる、お菓子のつくり方がいっぱい！ラッピングのしかたもっています♪



『365まいにちペンギン』

ジャン=リュック・フロマンタル/ぶん

ジョエル・ジョリヴェ/文 石津ちひろ/やく

(ブロンズ新社) E/47

1月1日、家に1わのペンギンがおくられてきた。だれがおくったか名前もなくて困っていたら、つぎの日もそのつぎの日も、毎日ペンギンがおくられてきて…。このままだと家中がペンギンだらけになってしまう！！



『火のくつと風のサンダル』

ウルズラ・ウェルフェル/さく

久米宏一/絵 関楠生/訳

(童話館出版) K943/41

クラスでいちばん太っていて、学校でいちばん背のひくかったチムは、みんなからいろいろからかわれ、べつの男の子になりたいとねがっていました。すると、たんじょうびにお父さんが、あたらしいなまえと、すてきなぼうけんをプレゼントしてくれて…。

